

五戸総合病院 地域医療研修終了後の所感

令和5年5月31日

青森市民病院 研修医 佐藤 直樹

青森市民病院の研修プログラムにおける地域医療研修として、一ヶ月間五戸総合病院にて勤務させていただきました。今年度からの体制変更により、当初予定されていた外科配属としての研修内容に留まらず、内科業務全般も担当させていただき、多くの貴重な経験を得ることができました。

外来業務では、患者さんをお待たせすることが極力減るよう、かつ確実な判断のものと対応・処方が求められ、最後まで苦心しました。並行して、重症患者さんの搬送や経鼻胃管交換処置、胃ろう交換なども担当させていただきました。病棟管理では、急性期疾患の管理から、退院支援に至るまでの幅広い視野での医療を経験することができました。疾患群を見ても、肺炎・尿路感染症・胆道感染症、心不全、褥瘡、熱傷などと多岐に渡りました。外科手術としては、粉瘤手術、CVポート造設、乳腺手術を経験させていただきました。また、訪問診療に携わる機会も頂きました。

私のような若輩に、これほどの業務を担当させて頂き、そして安藤院長先生からの密なご指導を頂いたことに本当に感謝しておりますとともに、未熟者ながらも五戸町の医療の一翼を担わせて頂いたことを光栄に思っております。

五戸総合病院は、疾患の治療と同時に、患者さんの退院・ひいては退院後の支援までを行うという全人的医療の側面も担っています。急性期病院と患者さんの自宅とを繋ぐ地域医療の重要性を確かな実感をもって学べたこの一ヶ月間は、一生忘れることのない経験となりました。

この一ヶ月間の業務において、未熟な私が独力でできたものはただの一つとしてなく、全て安藤院長や、他の先生方、看護師さんをはじめとしたコメディカルの方々全ての手厚いご助力によってなんとか遂行することができました。出来ないこと・知らないことばかりの自分を最後まで温かくご指導して頂き、本当にありがとうございました。